

「with コロナ時代の地域文化について考える」

宝塚市は豊かな自然環境に恵まれ、古くから様々な文化が幾重にも積み重ねられ、そこからまた新しい文化が生まれてきた文化・芸術都市です。

平成 25 年には文化をこよなく愛する市民の熱意を受けて、「宝塚市民の文化芸術に関する基本条例」が制定され、宝塚市とともに、市内の文化団体、文化財団、そして多くの活動をする市民が、文化芸術の薫り高い宝塚の実現をめざして、協働で取り組んでいます。

そして、今年の春からは、「宝塚市立文化芸術センター・庭園のオープン」、「宝塚ホテルの花のみち移転開業」、「手塚治虫記念館リニューアルオープン」などがあり、宝塚市にとって文化芸術都市としての新たなまちびらきの一年となるはずでした。

しかしながら、世界中で新型コロナウイルスによる公演や展示の中止が世界中で相次ぎ、宝塚市においても、文化施設の臨時休館や多くのイベントが中止や延期を余儀なくされ、社会全体への影響と同様に、文化、芸術関係者にも深刻なダメージを与えています。

with コロナの時代に「今何が大切なのか…。」「未来に向かうために…」を考えるために、大阪府内・兵庫県内の文化芸術関係者に対する新型コロナの影響調査に関わり、文化政策が専門の神戸大学大学院教授 藤野一夫氏をお招きし、勉強会を緊急開催いたします。

基礎自治体における文化政策の重要性とコロナ禍による文化芸術関係者への影響についてご講演いただき、この危機をどのように乗り越えていくかについて共に考えます。

内容(予定)：

- (1) 兵庫県下のアンケート及び宝塚の現状について報告
- (2) 基調講演：「不安な夜の荒波を照らす灯台---文化施設と財団の使命」
講師：藤野一夫氏(神戸大学大学院国際文化学研究科教授・日本文化政策学会副会長)
- (3) 宝塚市文化財団からのご案内
- (4) 基調講演を受けての振り返り(質問コーナー)

皆様からの質問を元に、藤野一夫氏に伺います。

日時：令和 2 年 (2020) 年 10 月 7 日 (水)

午後 2 時～午後 4 時 30 分 (開場は午後 1 時 30 分から)

場所：宝塚ソリオホール

(〒665-0845 宝塚市栄町2-1-1ソリオ 1・3F・TEL0797-81-8200)

参加費：無料(要申込/定員：会場・配信とも各80名)

(会場にて参加) FAX (0797-85-8873) にて申込みください。

(ライブ配信にて参加) ZOOM を使用します。

以下 URL もしくは右のコードから 応募フォームで申込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdKEE7qXnle4Xb2-hC1pK-ZojJVOMv84xogcUhonAKs7detA/viewform?usp=sf_link

お願い： 会場にご来場の際は、マスクの着用、手指の消毒、検温などのご協力をお願いします。
また、本番当日の発熱や体調不良の場合は、ご来場をご遠慮ください。

【 参加申込み 】

団体名：

お名前：

TEL：

E-MAIL：

令和 2 年 10 月 5 日 (月) までに FAX またはメールでお申し込みください。

- FAX : 0797-85-8873 メール : info@takarazuka-c.jp